



感動・創造都市

～人が輝き 自然が輝き まちの個性が輝く理想郷～

広報



とわだ

11

No. 169

2016



目次

特集

未来につなぐハーモニー

十和田フィルハーモニー管弦楽団の軌跡……2

平成28年度十和田市褒賞・十和田市文化に関する表彰……………8

第2次十和田市総合計画「基本構想」が議決……………10

十和田フィルは文化の薫り高き市の象徴



十和田フィルハーモニー管弦楽団
初代事務局長

さとう みのる
佐藤 稔 さん

市民文化センター建設は、長年の市民の願ひでした。市には「単なる貸館ではなく文化を育てる場所にしたい」という意向がありました。その中で生まれたのが、オーケストラ設立の動きです。

私は、演奏はできませんが、不治の病とされていた結核を患ったときにクラシック音楽に癒され、それ以来オーケストラが大好きです。また、1957（昭和32）年頃からオーケストラ設立につなげるための子どもの器楽アンサンブル「アンサンブル・ド・モアノ（仏語でスズメの合奏団）」の運営に携わっていましたが、子供らの成長と共に自然消滅してしまい、挫折感を覚えていました。だから、センターからオーケストラをつくるという呼び掛けがあった時には飛び付きましたね。

私が事務局に入り、まず動いたのは団員の確保でした。さまざまな所へ赴いてはしつこくオーケストラへの勧誘活動を続けました。

初演奏の音楽祭で、開演前に会場の様子を見に行くと、ほぼ満席でした。驚いてホールから出ると初代館長の今純一郎さんとばったり会い、お互い何か言おうとしましたが、ひと言でも口を開いたら涙がこぼれそうだったので、目で語り合ったのを覚えています。

十和田フィルは、「このまちにオーケストラを」という熱い思いと出会いが重なってできた奇跡の楽団。たくさんの人の希望が詰まっています。十和田フィルはこの十和田市の誇りです。

STORY 十和田にオーケストラの種をまいた人

市民文化センター開館、それが全ての始まり



十和田フィルハーモニー管弦楽団
コンサートミストレス*

いしかわ いずみ
石川 泉 さん

*演奏面でオーケストラを取りまとめる人

八戸市民フィルハーモニー交響楽団でコンサートミストレスを2年務め、市民文化センター開館の1986（昭和61）年4月に十和田に嫁いできました。私たちの結婚披露宴に、今館長が列席していたのが縁で、1988（昭和63）年にバイオリン教室の講師の依頼があり引き受けましたが、この教室がオーケストラの団員育成を目的に開設されたことと知ったのは後のことでした。

十和田フィル設立と同じ頃、センターが八戸ジュニアオーケストラを招待してバイオリン教室の生徒と一緒に演奏するという企画がありました。その時、今館

長が生徒に「十和田にジュニアオーケストラを設立するときには、皆さんが中心となって頑張ってください」と話し、生徒たちが深くうなずいていたのをよく覚えていました。

今、振り返って思うと、幸運な偶然が重なっていました。自分たちの文化を、自分たちの地域で育てたいと、活動の大きな器となるセンター建設に尽力した大勢の人々の存在。人口約6万人の都市に行政の支援でオーケストラを設立したこと。そして偶然にもそこに自分が居合わせ、活動が定着したことを心から幸せに思います。

新 音が磨く
音が磨く

「そこ遅いよ」「ここのピッチ（音程）合わないね」
団員同士で声を掛け合います。10代から80代まで広い世代の人が集まるこのオーケストラには世代を超えて互いに言い合える関係性が見え、チームワークの良さが感じられます。

ソロとは違い、大勢で一つの音楽を作り上げるオーケストラは「合わせる」という作業が必要です。しかし、それは自分の音楽性を殺して大勢に合わせるのではなく、一人一人が音楽を楽しみながら合わせることに意義があります。できなければ何回でも練習する、何回でも合わせる、大人も子どもも関係なく、一人の奏者が責任とプライドをもって音楽に向き合う姿がそこにはあります。



特集

未来につなぐハーモニー

十和田フィルハーモニー管弦楽団の軌跡

本市は過去に「文化不毛のまち」と言われた時代がありました。今年30周年を迎える市民文化センターで産声を上げたのが「十和田フィルハーモニー管弦楽団」。現在、市内では小・中学校、高校の吹奏楽の部活動が盛んに行われ学校教育の充実が図られていますが、同楽団は、市民参加型の生涯学習として26年の実績を誇り、市民文化を支えています。また、6万都市にオーケストラが3団体（※）あるのは稀で誇れることです。今号では、管弦楽を通して市民の心に潤いを与え、次世代を見据えて“育てる”活動を展開する同楽団の軌跡をたどります。

市

市民待望の市民文化センターが1986（昭和61）年5月に開館。初代館長を始めとするセンター職員らは、市の方針として、地域の文化振興を目的に、オーケストラ、子ども劇団、少年少女合唱団、混声合唱団の育成団体設立に動き出します。

オーケストラをつくらう

開館まもなくセンターは、オーケストラの土台作りのため、バイオリン教室（後にチェロ教室も）を開講します。教室の生徒が上達してきた頃、オーケストラ設立の検討会議が始まりました。「無理だ」「いや、できる」、意見は二分し平行線をたどり、「できるからできないか、一度音を出してみませんか」これが市民参加型の生涯学習の始まりでした。

大ホールで、教室の生徒を中心とした、名もなきオーケストラが奏でた音は、「初めてと思えない美しさ」と、取材に来たマスコミから評されました。これを機にオーケストラ設立は夢から現実となり動き出します。

センターは、団員募集の呼

び掛けを始めました。6万都市での人材確保は予想以上に難しかったといいますが、行政と市民が丸となり、自分たちのまちにオーケストラをつくるという情熱で、人が人を呼び、やがて楽団の形が見えてきたのです。

1990年10月、「十和田フィルハーモニー管弦楽団（以下・十和田フィル）」は、県内4番目の市民オーケストラとして産声を上げます。

記念すべき初演奏

翌年（1991年）、市民文化センター開館5周年記念音楽祭が十和田フィル公式の初演奏となりました。この音楽祭は、当時全国的にも類を見ない市民手づくりの音楽祭で、十和田フィルの演奏はこの音楽祭の華となりました。

地元のホールで、地元のオーケストラが届ける生の音楽に、会場からは割れんばかりの拍手と喝采が沸き起こりました。奏者として参加していた川村現団長は「これこそが市民オーケストラのあるべき姿」と観客から絶賛されたことを今でも鮮やかに思い出しています。

（※）十和田フィルハーモニー管弦楽団、ジュニアオーケストラ十和田、北里大学十和田交響楽団

インタビュー
INTERVIEW



十和田フィルハーモニー管弦楽団
団長

かわむら くにあき
川村 邦明 さん

まちのオーケストラへようこそ

十和田フィルの奏者の自給率は高いです。足りないパートは他から呼んでいますが、できるだけ自分たちで賄って「まちのオーケストラ」であることを大事にしています。だから演奏会に毎年来てくれるお客さまの中には「この音は優しい」とか「親しみやすい」などと言ってくださる方が少なくありません。十和田フィルを将来につなぐためには、次代を担う人を育てることや、ここを巣立ったメンバーがいつでも戻って来やすい楽団であり続けることが大切だと考えています。また、親しみを持って応援してくれるファンを増やすことも重要です。音楽は考えるものではなく感じるもの

です。無くても生きていけますが、出会ったことで人生がより豊かに広がる可能性があります。十和田フィルがそのきっかけを提供できればいいなと思っています。演奏会のプログラムに裏プログラムを載せているのもそういった理由からです。十和田フィルで初めてクラシック音楽に興味をもった人が、演奏する側になってもいいし、聴く側になってもいい、どんな形でもいいので音楽を楽しんでほしいですね。十和田フィルで音楽の楽しさを知った人がベルリンフィルでもウィーンフィルでも臆せずに聴けるようになったら最高です。



写真提供 工藤祐幸さん

音楽への情熱があふれた— **楽興の時**

今 年7月2日、市民文化センターで、国際的に活躍している指揮者の三河正典氏を迎えて第24回定期演奏会が行われました。

演奏会のプログラムには「早わかり音楽教室マナー講座」という、曲の解説と共に拍手のタイミングを教えられるページがあります。

「【抜粋】今年もおせっかいな身勝手裏プログラム」拍手の強要（教養）をお届けします。マイクやアンプを使わないクラシック音楽の演奏会では、楽器の音をホールいっぱい響き渡らせるには、会場が静かであることが欠かせません。この拍手の虎の巻をご一読いただき、気持ちよく演奏会をお楽しみいただければ幸いです。」

敷居が高いと思われるクラシック音楽の演奏会。不安を和らげるとともに、地域の人たちがどこの演奏会に行っても恥ずかしくないようなマナーを身に付けて欲しいという思いがプログラムに詰まっています。

つながる管弦楽

ジュニア ユニアオーケストラ十和田（以下ジュニア）は、2001年に、青森市、八戸市に次いで、県内で3番目に誕生しました。当初は十和田フィルに入団する人材育成が主な目的でしたが、次第に学校では経験できないオーケストラを学ぶ場として地域に定着しました。

豊かな人間性を育む

ジュニアの現団員は、小学1年生から高校3年生までの21人。オーケストラの編成には人数が足りないため、演奏会では十和田フィルの団員らがエキストラ出演するなどして楽団を支えています。

指導するのは、常任指揮者の福田守さんをはじめ高橋幸男団長、石川泉さんら。そのほか楽譜の準備や練習の調整などを、保護者らが協力して行っています。

子どもがオーケストラを学びたいと言ったとき、保護者事ではないでしょうか。ジュニア



列をなして開場を待つ来場者

仲間と最高のサウンドを奏しよう

開演を知らせるベルが鳴り、奏者が会場の拍手に迎えられながら入場。コンサートミストレスは奏者が演奏の準備ができたことを確認すると「A（ラ）」の音を出してチューニングを行います。いよいよ指揮者の登場。コンサートミストレスと固い握手を交わして指揮台に登ります。

「緊張の瞬間」指揮者が指揮棒を振り上げると輝かしい音がホールいっぱい響き渡りました。オーケストラは、音楽の大きなうねりと共に体をしならせ、全身で奏でます。一人一人が持つ音楽への情熱が歌ごころや躍動といった表現へ結



「ブラボー」音の余韻と共に湧き上がる歓声と拍手。胸に感動が流れる瞬間です。楽団員は緊張から解き放たれ、満たされた思いで終演を迎えます。

ジュニアでは、音楽に興味を持った子どもたちが、心配なく音楽に励むことができるように楽器借用の相談にも応じています。特に弦楽器は、体の大きさに合わせて楽器の大きさが変わるため、4分の1サイズから大人のフルサイズまで状況によって貸し出し、楽器を大切に扱う心構えから指導しています。

さまざまな環境から集まった子どもたちは「みんなが音楽をつくる」という一つの目標に向かって助け合うことで、知らず知らずのうちにコミュニケーションを形成し、社会の基本的な規範を身につけていきます。音楽だけではなく豊かな人間性を育むことがジュニア運営の大きな目的です。

きらきら光る十和田の星よ

ジュニアの新入団員の初ステージは「きらきら星変奏曲」が恒例です。

新入団員は、舞台の最前列中央でこの曲のメロディを奏



きらきら星を演奏する新入団員

です。初ステージで、本来であればソリストが立つような最高の場所での演奏を経験させるのは、とても思い切った演出です。しかし、この経験は子どもたちが本格的に音楽と向き合う契機となります。子どもたちの熱意が、合奏の喜びや練習の先にある感動に結びついたとき、きっと素晴らしい世界が開けてくるでしょう。

高橋団長は言います。「音楽の世界では誰もが上達する権利を持っている」。子どもたちの可能性は無限大です。

ジュニアの誕生から15年、たくさん子どもたちが楽器を取り、本物の音楽に触れてきました。中にはプロの演奏家になり活躍している人たちもいます。また、十和田フィルに入り、ジュニアの指導者になるという人も出てきています。

本市には、大人でも子どもでもオーケストラをやりたいという人の受け皿があります。

夢を継ぐ



切田中学校文化部

サンプルは、小・中学校の音楽教室や自主公演などで音楽の楽しさ、美しさを広めています。

このように管弦楽のつながりは、互いに助け合い高め合い、地域文化の薫りを高めています。

また、ジュニアから十和田フィルへステップアップし、次を育てるといふ人づくりの流れも定着しつつあり、オーケストラを始め、励むための環境が整っています。世界的に活躍する著名な演奏家が生まれることも夢ではないのかもしれません。

十和田フィルが、この6万都市で26年続けてきた原動力は次世代を育てる取り組みです。活動を広く地域で共有し、次世代へつなぐいくことが、創造性豊かなまちの繁栄に結び付きます。

本市の文化・スポーツ活動で地域に貢献している皆さんも、さらなる取り組みで、未来の十和田市を創ってみませんか。未来につなぐ希望のハーモニーを奏できるように。

十和田フィルの歩み

- 1986(昭和61)年
市民文化センター開館
- 1990年
★十和田フィル誕生
- 1991年
市民文化センター開館5周年記念音楽祭出演・初演奏
- 1992年
第1回定期演奏会開催
- 1997年
市民第九演奏会「ひびけ三木野ヶ原に」市制施行40周年、市民文化センター開館10周年記念演奏会出演
- 1999年
県民文化祭総合フェスティバル式典出演
- 2001年
ジュニアオーケストラ十和田誕生
- 2007年
市文化奨励賞受賞
- 2011年
第19回定期演奏会・東日本大震災支援コンサート開催
- 2016年
第24回定期演奏会開催

毎年定期演奏会開催、各種イベントに出演。現在団員50人

見学・入団の問い合わせ

- 十和田フィル事務局・宮内
☎090・5356・2009
- ジュニア事務局・豊川
☎090・4042・9920
- 北里大学十和田交響楽団の定期演奏会があります。詳しくは、27ページをご覧ください。

インタビュー INTERVIEW

十和田フィルは文化の裾野を広げた。

昔は、音楽に興味のある人の拠り所がありませんでした。どこに行けば音楽ができるのか、その場を提供したことが十和田フィルの大きな功績でしょう。十和田フィルは、バイオリンを弾きたいと思えば、上手下手関係なく受け入れ、一緒に上手になりましょうと言います。設立当時、管楽器や打楽器は吹奏楽の経験者がたくさんいましたが、弦楽器ができる人はなかなかいませんでした。そうなるに育てるしかありません。育てるにも時間がかかります。人を育て、楽団の活動を軌道に乗せ、楽団員それぞれが生涯現役を目指し、さらにジュニアを通して次世代へつなぐ活動をしている、十和田フィルの活動は本市の生涯学習の推進に大きく貢献しています。



十和田市文化協会会長
かわさき とみやす
川崎 富康 さん

自分たちの住んでいるまちで文化を育てたいと、センター建設に向けて起きた文化のムーブメントから30年が過ぎ、文化不毛の地といわれていた本市は、今や音楽をはじめ文化の盛んなまちになりました。

市内では、市民文化センターや公民館などで、さまざまなジャンルの愛好家が、グループをつくり、楽しみながら、文化の裾野を広げています。十和田フィルもそういう熱い意志をもったグループから始まったのです。

十和田フィルにはこれからも地域に根差した活動を続けて、地域の揺りかごのようにそのサウンドをいつまでも響かせてほしいと願っています。

インタビュー INTERVIEW

ジュニアは私の原点



プロバイオリニスト
とよかわ れいこ
豊川 麗子 さん

PROFILE

ジュニア初代コンサートミストレス。洗足学園音楽大学卒業後、関東と十和田市で音楽活動を行っている。

小学3年からバイオリン教室に通い、中学2年の時に設立されたジュニアに移行して初代コンサートミストレスとなりました。違う学校の同年代の友達がたくさんいたので、一緒に音楽をするのが楽しみでした。

当時は、音楽で身を立てようなんて思ってもいなかったけど、バイオリンを極めたい、自分の力を試してみたいという気持ちが強くなって音楽の道へ進む決意をしました。

子どもの頃の夢は、有名人のバックで演奏すること。それが叶った今は、普段音楽を聴いていないような人にも生の音楽を届けたい。特に十和田では音楽を身近に感じる活動を展開していきたいです。

楽しい音楽の時間です



ジュニアオーケストラ十和田
コンサートミストレス
青森市立筒井中学校3年
たばた ふみな
田畑 史菜 さん

小学2年の時にジュニアに入団しました。小学5年の時に青森市へ引っ越しましたが、十和田のアットホームな雰囲気が好きで通って活動を続けています。

十和田は、オーケストラを始める環境に恵まれています。もっとたくさんの人にオーケストラの楽しさやジュニアを知ってもらって、ジュニアの仲間を増やしたいです。

北里大学生や十和田フィルの人が音楽を楽しむ姿は私の憧れです。社会人になってもずっと続けたいです。

Junior Orchestra Towada



コンサートミストレスを中心に繰り返し練習します



設立当時から指揮を振る福田守常任指揮者



小さな子どもでも演奏できるようにいろんな大きさのバイオリンを貸し出ししています

1/4 1/2 3/4 4/4 (フルサイズ)



美しいハーモニーは団結力から。合宿で仲を深めます

広がる管弦楽の輪

人口約6万3千人の中核都市に3つもオーケストラがあるのは稀で本当に素晴らしいことです。

そのほかにも、切田中学校文化部では、週3日をバイオリンの練習に割り当て、同校の文化祭や上北地方中学校文化連盟音楽発表会などで練習の成果を発表しています。

また、十和田フィルの団員でもあるバイオリン・チェロ・フルートの奏者とピアノ奏者で組まれたゼルコバアン



北里大学十和田交響楽団

市内には、十和田フィル、ジュニア、北里大学十和田交響楽団の3つのオーケストラがあります。

平成28年度十和田市文化に関する表彰

『文化功労賞』は、永年にわたり文化の向上発展に貢献し、その功労が特に顕著である方、『文化奨励賞』は、優れた文化の創造および普及活動を続け市民の文化向上に寄与した方に贈られます。

＊文化功労賞



ささき きよよし
佐々木 喜代治さん
(70歳・深持字南平)

昭和28年より晴山獅子舞保存会の後継者として入会。「権現舞」「三番叟」を主にあらゆる演目の笛、太鼓、鐘、ほら貝など全てにわたって技能を磨き、習得。また、後継者への演技指導に努めるなど地域の伝統文化の継承に大きく尽力した。
(活動歴63年)

＊文化功労賞



とまべち たかあき
苔米地 隆昭さん
(72歳・相坂字高見)

長年中断していた六日町鶏舞の復活のため奔走し、復活後も現役として活躍しながら後輩の育成にも力を注ぐなど、活動の中心的存在となり、地域の伝統文化の継承に大きく貢献した。
(活動歴42年)

＊文化功労賞



やまざき いさむ
山崎 勇さん
(69歳・立崎字立崎)

長きにわたり、駒踊りの自己の技能向上と後継者の育成に尽力しており、南部駒踊立崎保存会の役員(会計・副会長・会長)としても組織の維持発展に大きく寄与した。
(活動歴46年)

＊文化功労賞



じん れいこ
神 玲子さん

「フォト五月会」で長年事務局長と会計を兼任、近年は会長代行も兼ねて市内各所での写真展などの企画、運営を担い写真文化の普及に尽力している。自身も多くの作品が入賞しており、写真文化の向上、発展に貢献した功績は大きい。
(活動歴20年)

＊文化奨励賞



け た かずゆき
氣田 和幸さん
(57歳・三本木字稲吉)

昭和53年に南部切田神楽会の後継者となる。切田神楽の根幹をなす権現舞をはじめ、祈禱舞、女舞、狂言など30余番ある演目の技量を習得し、舞手の中心として活躍するとともに、後輩たちの指導も熱心であり、今後の更なる活躍が期待される。
(活動歴38年)

＊文化奨励賞



あらしき すみこ
新屋敷 すみ子さん
(67歳・沢田字中道)

十和田市文化財保護協会の役員として、会運営の企画、研修、研究発表に尽力し、協会内のみならず広く一般市民の文化財に係わる意識の向上に寄与し、今後の更なる活躍が期待される。
(活動歴11年)

＊文化功労賞



おおふかない ちくしゅうねんこまおど こうえんかい
大深内地区少年駒踊り後援会
(洞内字千刈田)

昭和45年に地元の民俗芸能「駒踊」を学校教育の一環ととらえ、生徒を支える組織として教職員・地域住民が一体となり後援会が発足。大深内地区にある「洞内南部駒踊保存会」と「南部駒踊立崎保存会」の後継者育成に多大な功績を残した。
(活動歴46年)

社会福祉の振興発展に貢献

昭和61年に民生委員児童委員に就任以来、平成7年に十和田湖町民生委員児童委員協議会会長、合併後の平成19年には、十和田市民生委員児童委員協議会会長を務め、住民の立場に立って相談に応じ、必要な助言や援助を行うなど献身的に尽力されました。また、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるよう、市、社会福祉協議会と連携した支援を行うなど福祉向上に寄与されました。

平成10年に上北郡民生委員児童委員協議会会長に就任、平成11年には、青森県民生委員児童委員協議会副会長を務めるなど、当地域のみならず県域における社会福祉の向上に大きく貢献されました。

昭和53年に消防団に入団以来、平成21年から平成27年まで副分団長、現在は分団長の職に就くなど地域防災活動に尽力されました。

【主な受賞歴：平成13年青森県社会福祉協議会知事表彰、平成23年全国民生委員児童委員連合会会長表彰、平成28年消防庁長官永年勤続功労章ほか】



しらやま ひろみ
白山 廣美さん
(64歳・法量字尻貝下)

消防団の発展に貢献

昭和42年に消防団に入団以来、分団長、副団長などを歴任し、平成19年から平成27年まで消防団長として、社会状況に即応した消防力の強化、消防団設備の整備に積極的に取り組んだほか、消防団員の指導育成、消防技術の向上に努め、第22回、第23回の全国消防操法大会出場に導くなど、本市の消防団活動の発展に大きく貢献されました。

また、火災予防の重要性を市民に説き、「自らの地域の火災予防は自らの手で」という思想の普及に努められました。

平成16年に青森県消防協会評議員に就任以来、副会長などの職に就き、平成26年から平成28年まで会長として、当地域のみならず青森県民の防火思想の普及にも努め、地域住民が安全、安心を実感できるまちづくりに大きく尽力されました。

【主な受賞歴：平成17年消防庁長官永年勤続功労章、平成18年日本消防協会長功績章、平成26年青森県知事功労章、青森県消防協会長有功章ほか】



なかざわ とよみ
中沢 豊美さん
(70歳・三本木字西金崎)

平成28年度 十和田市褒賞

公共の福利増進に功労があった方や、広く市民の模範となる方をたたえるものです。

第2次十和田市総合計画「基本構想」が議決

（平成38年度までの10カ年計画）



問 政策財政課政策企画係 ☎ 6710

平成28年第3回十和田市議会定例会において、「第2次十和田市総合計画」基本構想が議決されました。

この基本構想は、まちづくりの将来都市像や基本理念、それを実現するための基本的な施策の大綱が定められています。

「第2次十和田市総合計画」の概要

■ 策定の趣旨

本計画は、現行の第1次十和田市総合計画の計画期間終了後、引き続き、本市ならではの地域特性を踏まえた、総合的かつ計画的な行政運営を進めていく指針となる計画として策定するものです。

■ 計画の性格と位置づけ

本計画は、十和田市まちづくり基本条例第14条の規定に基づき、本市における最上位の行政計画です。

■ 計画の構成と期間

本計画は「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3層で構成するものとし、計画の期間は次のとおりです。

- ▽基本構想：平成29年度から平成38年度までの10カ年
- ▽基本計画：前期基本計画5カ年、後期基本計画5カ年
- ▽実施計画：第1期実施計画4カ年、第2期及び第3期実施計画3カ年

まちづくりの方針

■ 将来都市像

「私たちがつくる希望と活力あふれる十和田」人口減少をはじめとした多くの課題を解決していくため、行政だけではなく市民の力を結集して、市民が主役となるまちづくりを進めていきたいとの思いと、次代を担う子どもたちに継承できる、未来へ

■ 基本理念

将来都市像の実現に向け、全ての分野にわたって共通するまちづくりの基本的な考え方を「まちづくりの基本理念」として定めています。

■ 基本目標

本市のまちづくりの骨格をなす主たる分野ごとに、今後どのようなまちを目指すのかを「まちづくりの基本目標（政策）」として、定めています。

今後、基本構想の実現に向けた具体的な施策を示す基本計画、個別具体の事業と年度別の計画である実施計画を策定することとしています。
※基本構想の詳細、策定の経緯は市ホームページに掲載しています。

将来都市像・基本理念・基本目標の体系

〈将来都市像〉

「わたしたちが創る希望と活力あふれる十和田」

〈基本理念〉

市民一人ひとりが主役のまちづくり

十和田らしさを大切に守り活かすまちづくり

地域を育て地域と地域が連携したまちづくり

〈基本目標〉

市内外からより多くの人々や消費を呼び込めるまち（産業振興）

地域全体で子育て・子育てをしっかりと支えるまち（子育て・教育）

すべての市民が健やかに暮らせるまち（健康・福祉）

だれもが楽しく学び、豊かな心と文化が息づくまち（生涯学習・文化・スポーツ）

地域で助け合い、災害に強く犯罪のない、安全・安心なまち（安全・安心）

ゆとりと潤いあふれる暮らしを実感できるまち（環境）

快適な暮らしや活発な経済活動を支える都市基盤が整ったまち（都市基盤）

地域経済社会の持続的な発展を支える強固な経営基盤が確立したまち（自治体経営）

移住者の先輩と巡る「お試しツアー」に首都圏などから13人参加

市では9月24日～25日、地方への移住を検討している人に市の魅力を発信する「移住お試しツアー」を開催し、首都圏や大阪から20～60歳代の13人が参加しました。先輩移住者の案内のもと、アートな街中や十和田湖・奥入瀬渓流の豊かな自然を体験して、本市での暮らしを身近に感じてもらいました。

参加者の声を紹介します

- 十和田市の人は、外の人を受け入れてくださる雰囲気をもって、十和田市へ移住する気持ちが強くなりました。
(50歳代男性)
- 十和田湖の朝日がきれいで、キャンプやカヌーのためにまた来たいと思いました。環境や人柄などが突き抜けて良いと感じました。
(20歳代男性)
- 不便でさみしいイメージでしたが、アートに囲まれて街の人たちも笑顔で楽しく過ごされており、とても住みやすそうな街だと感じました。またぜひ来たいです。
(30歳代女性)
- 十和田市の魅力がすごく伝わって充実の2日間でした。街もきれいで、田舎過ぎず、便利そうなどころだと感じました。
(30代女性)
- 具体的に暮らしている人の顔を見ることができましたので、街づくりに対して、面白いことを画策しようとしている人たちがいる、いい意味で固まっていない印象を持ちました。
(30歳代男性)



「アーツワダ」の活動の説明を受ける参加者たち



カヌー体験で十和田湖の魅力を満喫

「十和田市婚活応援サポーター」募集

結婚を希望する男女の出会いから結婚までを応援し、身近な相談役として協力していただく婚活応援サポーター（個人、団体）を随時募集します。資格や年齢は問いませんので、多数の応募をお待ちしています。

婚活応援サポーターの役割

▷身近な相談役

▷婚活イベントやセミナーの情報提供など

応募方法 政策財政課窓口または、市ホームページからダウンロードした申し込み用紙に記入の上、持参、郵送、FAXのいずれかで応募してください。

申問政策財政課☎⑤6712 FAX ④9616

婚活応援のためのお役立ち講座を開催

「結婚希望者の応援をしたい」という思いのある市民へのお役立ち講座を開催します。婚活応援サポーターに興味のある人との交流や、相談対応のノウハウを学ぶ機会として、ぜひ気軽にご参加ください。

とき 11月27日(日) 午後1時30分～4時45分
※終了後交流会を行います。

ところ 市民交流プラザ「トワール」

対象 市内在住で、結婚を希望する男女を応援したい人（30人程度）

内容 講師を招いて、実際の事例をもとに結婚を希望する男女から相談を受けたときの対応方法などを学びます。

参加費 無料（交流会への参加者は500円）

申問政策財政課またはNPO法人プラットフォーム
あおりり（☎017-721-1250）

特定不妊治療費を助成します

申問 **こども子育て支援課** 子育て給付係 ☎⑤6716

市では少子化対策の一環として、特定不妊治療（体外受精・顕微受精）を受ける夫婦の経済的負担を軽減するため、県の助成を受けた人に対して、治療費の一部を助成しています。

条件

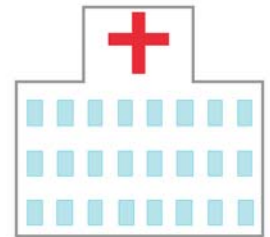
- ・ 法律上の婚姻をしている夫婦であること
- ・ 青森県特定不妊治療費助成事業費補助金の交付決定を受けていること
- ・ 夫婦のどちらか一方が青森県特定不妊治療費助成事業の交付決定日から継続して市内に住所を有していること

※県の助成を受けるためには、妻の年齢が43歳未満であること、指定医療機関において特定不妊治療を受けること、所得制限を満たすことなどの要件を満たす必要があります。

助成額

治療に要した費用から下記の県の助成額を控除した額と、県の助成額の3分の2の金額のいずれか低い額（上限10万円）

（県）治療内容に応じて、150,000円（初回申請に限り300,000円）または75,000円



初回申請における助成実例

- ①新鮮胚移植を実施した場合 治療期間▷約40日
治療費402,460円、県の助成費300,000円、市の助成費100,000円で実質自己負担額2,460円
- ②凍結胚移植を実施した場合 治療期間▷約170日
治療費422,930円、県の助成費300,000円、市の助成費100,000円で実質自己負担額22,930円
- ③体調不良などにより移植の目途が立たず治療終了 治療期間▷約20日
治療費359,180円、県の助成費300,000円、市の助成費59,180円で実質自己負担額0円

★申請方法などの詳細はお問い合わせください。

とわだ産品情報



とわだ産品販売戦略課 ☎⑤6743

とわだ産品販売戦略課

検索

しずくの恵マルシェ 11月まで開催

農業後継者や加工業者などの新たな販路の確保・拡大のほか、特色を持った作物の生産への取り組みを促進させ、紹介する機会をつくるため、地元農産物などを販売するマルシェを6月から毎月第4日曜日に開催しています。

6～7月は道の駅とわだ「とわだびあ」で開催していましたが、中心市街地の賑わい創出のため、8月からは市民交流プラザ「タワーレ」に場所を移して実施しています。来場者もこれまでの累計で3千人を超え、賑わいが増え始めています。

毎回約10店舗が出店し、それぞれ情熱あふれるこだわりの野菜や安定感抜群の高品質な野菜、加工品、郷土料理など十和田市産食材をたくさんそろえています。今年度は11月までの開催で、次回が最後の開催となります。皆様のご来場をお待ちしています。

とき 11月27日(日) 午前9時～午後1時（悪天候時は中止）

ところ 市民交流プラザ「タワーレ」

※マルシェへの来場者は駐車場無料



市民交流プラザ「タワーレ」で開催中



十和田
ふぁみりーず
も勢ぞろい

みんなで
出かけよう

ぐるっとNAVI ~上十三・十和田湖広域定住自立圏情報~



上十三・十和田湖広域定住自立圏圏域のイベント情報をお届けします♪

三沢市

となみウィンター・ファンタジー

花火打ち上げ、ステージショー、三沢冬の味覚販売、大抽選会など盛り沢山！イルミネーション点灯期間は12月25日までです。

▶とき 12月3日(土)

午前11時～午後7時

▶ところ 道の駅みさわ斗南藩記念観光村

☎三沢市先人記念館 ☎593009

七戸町

七戸南公民館設立70周年 記念式典・演奏会

記念式典と全国で活躍するマリンバ奏者・新谷祥子さんの演奏会。

▶とき 11月27日(日)

演奏会 午後2時

(式典 午後1時)

▶ところ 七戸町農村環境改善センター「柏葉館」

☎七戸南公民館 ☎622118

横浜町

2016横浜なまこフェア

全国初の地域団体商標登録の横浜なまこ。開催中は、なまこ料理を提供します。

▶とき 12月1日(木)～18日(日)



▶ところ 道の駅よこはま菜の花プラザ、トラベルプラザ・サンシャイン

☎菜の花プラザ ☎017576687

サンシャイン ☎017572080

横浜町役場産業振興課

☎017572111

六ヶ所村

ふるさと新鮮朝市

とれたて野菜や新鮮な海産物、それらを使った加工品などを販売します。

▶とき 11月12日(土)午前7時～

11月26日(土)午前8時～

▶ところ 泊地区イベント広場(12日)

尾鮫地区スワニーイベント広場(26日)

☎六ヶ所村商工会 ☎017572331

第33回ろっかしょ産業まつり

六ヶ所村の海、山の幸が一堂にそろう産業まつりです。サケのつかみどり、小川原湖牛のバーベキューなど多彩なイベントを開催します。

▶とき 11月5日(土)、6日(日)

▶ところ 尾鮫漁港特設会場

☎六ヶ所村商工観光課 ☎017572111

法律相談

あなたの街の



～第28回～

市民の皆さんの身近な事柄を取り上げ、法律の面から弁護士が解説します。今回は「空き家問題」についてです。

☎まちづくり支援課 ☎516777

Q) 最近、私の家の周囲に空き家が増えてきました。

A) 総務省の統計によると平成25年10月時点で全国に820万戸の空き家があるとされており、そのうち318万戸は管理が行なわれず放置されていると見られます。空き家は今後、高齢化の影響などでさらに増えていくと懸念されます。

空き家が増えると、老朽化による倒壊の危険、景観や衛生面、治安の悪化につながります。

Q) 例えば1人暮らしの方が亡くなって、その方に相続人がいないために自宅が空き家になってしまった場合には、どのような方法で管理すればいいのでしょうか。

A) このような場合には、利害関係人の請求により、家庭裁判所に相続財産管理人の選任を申立てて管理人に管理を委ねる方法が考えられます。申立てにあたっては、あらかじめ、

どのような管理が必要か、申立てや管理にどのくらいの費用がかかるのか、最終的にどのような形で処分してもらうのか、といったことを考えておく必要があります。

Q) 前に住んでいた人が出て行ったまま帰ってくることもなく、放置されている家についてはどうでしょう。

A) まず、所有者が誰かを調べる必要があります。家は所有者の財産であり、また、所有者には家を適切に管理する責任があるからです。どうしても所有者による管理ができなければ、利害関係人の請求により、家庭裁判所に不在者財産管理人の選任を申立てて管理人に管理を委ねる方法が考えられます。

Q) 行政による対応は可能なのでしょうか。

A) 平成27年に空家対策特別措置法が施行され、市町村長に調査および立入りの権限が与えられました。そして、「そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態」などと判断されれば、所有者等に対し、指導・助言、勧告、命令、行政代執行といった措置がとれるようになります。

(文責・弁護士 橋本 明広)
弁護士法人青空と大地 ☎215162

子どもの笑顔が輝くまちへ 地域で子どもを育てよう



子どものあそび場商店街「忍者修行道場」より

十和田市男女共同参画市民情報誌ゆっパル編集委員によるコーナーです

「ゆっパル」の由来
この地方の方言で「結ぶ」という意味の「ゆっばる」と、英語で「仲間・友だち」という意味の「パル」からできています。「一人ひとりの思いが結びついて仲間をつくる」という願いが込められています。

今号は、地域で子どもを育てる「特十和田NPO子どもセンター・ハピたの」の取り組みについて、中沢代表にお話を伺いました。

Interview

特十和田NPO子どもセンター・ハピたの 代表理事 中沢洋子

所在地 稲生町16-43
 設立 平成17年6月 (特十和田NPO子どもセンター・ハピたの)
 平成18年4月 北園小学校学童保育指定管理者
 平成22年7月 コミュニティカフェ「ハピたのかふえ」開設



事業
 ・子育て支援事業(学童保育)
 ・コミュニティカフェ事業(「ハピたのかふえ」運営)
 ・ネットワーク事業(おはなしはらぺこ隊、わくわく連隊あそびんジャーなど)
 ・あそび環境事業(子どものあそび場商店街、あおぞら児童館ハピたのくらぶ)

スタッフ 代表理事 中沢洋子さん(左下写真中央)
 副代表 藤谷みのりさん(同右)
 専任理事 中野渡典子さん(同左)



▲大宮エリーさんと子どもたちの作品の前で



▲1階がカフェ、2階が事務所です

Q 法人立ち上げの経緯についてお聞かせください。

「ハピたの」の前身「十和田おやこ劇場」は、親子で生の舞台や人形劇などの観賞やキャンプなどを体験し、地域で子どもを育てようという任意団体でした。そこは、お母さんたちが相談したり愚痴を話したりするコミュニティの場でした。その中で活動をしているうちに、自分の子どもばかりではなく、地域の子どもをちゃんと育てたいと考えるようになりしました。

Q 子どもたちと向き合うときに大事にしていることは何ですか？
 「待つ」「子どもの話をとことん聞く」「子どもの気持ちを受け止める」

Q 輝いて働く女性・中沢さんにとって「ハピたの」とは？
 生きるということを一生懸命にさせてくれるところです。さまざまなお会いを通して感動をいただいています。

Q カフェはどんな場所ですか？
 カフェは単なる「場」の提供だけに留まらず、「食」「あそび」「情報交換」「子育て」を通じて、ハピたのならではの新しい子育て環境づくりを提案しています。
 子育て中のママやおじいちゃん、おばあちゃん、観光客、中高生などが気軽に利用していて、高校生は試験勉強にも利用しています。
 Xメニューには、市の旬な野菜や特産物を使い、ランチや夜の会食、お弁当などを提供しています。

Q 事業の中の「お医者さんと話そう」について教えてください。
 きっかけは2012年、中央病院

ドクターの吉村純彦先生や畑中光昭先生の「短命県返上・健診率アップのために地域の人と話したい」という思いからでした。

「高血圧」や「認知症」などテーマをドクターが決めた専門的な医療の話をし、野菜ソムリエや中央病院の管理栄養士がテーマにあったレシピを考えて、私たちがその軽食を出します。参加料は500円。みんなで食べておしゃべりしながら楽しい時間を過ごします。今では、ケアマネージャーや介護福祉士などつながりが広がっています。これまでの30回の軽食レシピが今年7月に、「食べる処方箋」という本になりました。



▲540円(税込み)

Q 続けていてうれしいことは？
 たくさんの地域の人の出会いやつながりがこんなに広がるのを感じます。これは私たちの一番の財産です。学童保育の子が成長してカフェに遊びに来てくれること、「お医者さんと話そう」では出会いを楽しみにたくさんの方が来てくれること、カフェでは農家さんが応援してくれることなどがうれしいです。

Q 「ハピたの」の願いとは？
 「力は己の中にあり」子どもたち一人一人には必ず力があります。子どもたちが自分らしさを発揮して、輝く笑顔で未来に向かい、夢や希望を持ち、ふるさとに誇りを持って生き抜いていけるように願っています。

ホットな一句



Q 輝いて働く女性・中沢さんにとって「ハピたの」とは？
 「ハピたの」は、地域の人が気軽に集い、子どもたちが帰って来られる変わらない場所であり続けたいと思っています。「ハピたの」はみんなのものです。

◆インタビューを終えて

ちょっと昔、家には祖父母が居て、近所のおじちゃん、おばちゃんも、子どもの異変に気付けば声を掛けてくれました。しかし、核家族化が進み、近所との関係も希薄となりつつある今、保護者と学校以外で子どもの異変に誰が気付いてあげられるのだろうか、また、家庭や学校で辛いことがあったとき、子どもたちの行き場所はどこだろうか、と考えます。「ハピたの」は子どもたちを両手を広げて迎え入れてくれます。そして、周りの大人たちに「地域で子どもを育てよう、守ろう」と呼びかけます。いつの時代も、子どもを守るのは大人の責務。子どもの輝く笑顔は未来をつくる原動力です。

「さんかく日和」その8

Akemi.N



★編集後記
 ゼロからの柱づくりに苦心を乗り越え、「ハピたの」を今日まで継続しているのは素晴らしいです。私にはできないなあ〜。(K)
 思春期の子どもに冷たくされると寂しい気持ちに…。でも、めげずに笑顔になりそうなご飯を作る毎日です。(N)
 自分が子育てしていた頃を思い出した。子どもたちを守っていたのか。70歳を前にして反省、後悔!!(F)
 編集 十和田市男女共同参画市民情報誌ゆっパル編集委員 木村奈生美、中野渡明美、深谷淳子
 イラスト 中野渡明美
 発行 総務課広報男女参画係 ☎6702

10/9 風を切って、駆け抜ける とわだ駒街道マラソン大会

第21回とわだ駒街道マラソン大会が市陸上競技場発着で行われ、全国から集まった1,834人の市民ランナーが、「日本の道百選・官庁街通り」などを力走しました。ランナーを代表し、大久保愛子さん(7歳)が「元気よく、楽しく、最後まで走り抜くことを誓います」と選手宣誓した後、選手は2km、3km、5km、10km、ハーフコースの各コースをスタートの合図とともに思い思いのペースで駆け抜け、爽やかな汗を流しました。



合図とともに勢いよくスタートしたハーフマラソン

10/8 海洋投棄されたゴミがランプとなり照らす光 「ヨーガン レール展」始まる

現代美術館で、企画展「On the Beach ヨーガン レール 海からのメッセージ」が始まりました。ヨーガン レール(1944-2014)は、テキスタイルデザイナーとして活躍し、70年代初頭に日本に移住。農園と住まいを沖縄、石垣島につくったヨーガンは、際限なく海辺に打ち寄せるゴミに悲しみと憤りを感じ、自分で拾い集めたプラスチックゴミをまた使えるものにしようとしてランプなどをつくりました。企画展ではその照明作品などを展示しています。



会期は来年2月5日まで。会期中はスペシャルトークなどさまざまなイベントが行われます

9/28 高知県土佐町との姉妹都市交流を記念して 土佐町の町の花「あじさい」を植栽

姉妹都市の土佐町から姉妹都市交流30周年を記念して贈られたあじさいを、約20人の市民が「大きく立派に育ちますように」と願いを込めて、奥入瀬ろまんパークなどに植栽しました。

あじさいは、平成26年度から28年度までの3カ年事業として毎年100本ずつ贈られ、最終年度の今年は、奥入瀬ろまんパーク前の国道102号沿いにも植栽しました。植栽したあじさいは、夏にきれいな花を咲かせています。



奥入瀬ろまんパークで足を止めて、大町桂月に思いをはせてみてはいかがでしょうか

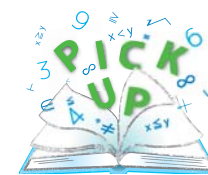
9/28 みんなで支える長寿の喜び すこやか長寿を祝う会

市民文化センターで「第12回十和田市すこやか長寿を祝う会」が行われ、約千人の市民が参加しました。

大会では、90歳に達した長寿者243人、88歳に達した長寿者320人と健康長寿活動の功績が顕著だった1個人4団体、老人クラブ功労者24人に対し、顕彰などが贈呈されました。式典後のアトラクションでは、園児らの元気なダンス、市老人クラブの皆さんによる踊りなどが披露され、会場を盛り上げました。



健康と長寿を祝って、元気よく万歳三唱しました



とわだハイスクールフェスティバル

～小学生のための体験教室！高校生が楽しく、分かりやすく教えてくれます～

地域の高校の特色を生かしたプログラムを通して、その専門性に触れながら、将来の夢を考えるきっかけづくりを行い、子どもの知的探究心を育むことが目的です。

9/3 レーザー彫刻で光るフォトパネルをつくらう 十和田工業高校



十和田工業高校(瀨中瑞洋校長)では、電子機械科の生徒13人が講師となりました。16人の小学生は、パソコンを使ってデザインを作成した後、レーザー彫刻機で絵や文字を彫刻。七色に光る発光ダイオード(LED)を組み込んだフォトパネルを作りました。大久保拓海くん(南小5年)は「パソコンのデザインは難しかったけど、フォトパネルがちゃんと光ってうれしいです」と話していました。

9/17 科学体験を楽しもう 三本木高校



三本木高校(長者久保雅仁校長)では、サイエンスコースの生徒10人が講師となりました。23人の小学生は、白い紙に透明な液を筆に付けて書くと字が浮き出て、スプレーを吹きかけると消える「化学でお絵かき」や、振動で発電する「カチャカチャ発電」工作をしました。峯田駿哉くん(東小6年)は、「字が浮き出て紫色になるのは不思議」と首をかしげましたが、高校生から答えを聞いて納得した様子でした。

10/8 焼肉のタレをつくってみよう 三本木農業高校



三本木農業高校(瀧口孝之校長)では、動物科学科の生徒9人が講師となり、19人の小学生と一緒に、同校のリンゴ畑から児童がもぎ取ったリンゴのほか、収穫されたタマネギ、ニンジンなどをすりおろし、調味料と煮詰めて、焼肉のタレを作りました。内城七海さん(三本木小5年)は「リンゴの皮をむくのが難しかったです。手づくりのタレは手間がかかるけど甘くておいしかったです」と満足した様子でした。

10/15 奥入瀬渓流の魅力を発見しよう 十和田西高校



十和田西高校(対馬祐之校長)では、観光科の生徒8人が講師となり、16人の小学生に奥入瀬渓流の魅力を伝えました。参加者は、バスで石ヶ戸に向かい、4つの班に分かれて、雲井の滝までの約2.7kmを高校生のガイドとともに歩きました。関川優花さん(法奥小6年)は「植物の種類などが分かりやすく説明してくれて、新しいことをたくさん知りました」と爽やかな表情で話していました。

11月の健康カレンダー



●乳幼児健診・母子健康相談

▶問診票・母子健康手帳を持参してください。

内容	受付時間	ところ・問い合わせ
◆4か月児健診 健診日までに満4か月に達する乳児	15日(火) 12:00~12:45 ※バスタオル持参	保健センター 健康増進課 ☎6792
◆1歳6か月児健診 平成27年5月生まれの幼児	16日(水)※歯ブラシ持参 12:00~12:45	
◆2歳児発達健診 平成26年5月生まれの幼児	17日(木)※歯ブラシ持参 12:00~12:45	
◆3歳児健診 平成25年5月生まれの幼児	29日(火)※歯ブラシ持参 12:00~12:45	
◆パパ・ママ教室 妊婦とその家族(夫・赤ちゃんの祖父母)	30日(水) 12:30~13:00 ※24日(木)まで要予約	
◆子どものこころの相談 小・中・高校生とその家族	10日(木)14:00~ ※4日(金)まで要予約	

※2歳児発達健診は2歳6か月児が対象です。問診票は1歳6か月児健診時に、母子健康手帳に挟めて配布しています。

※3歳児健診は3歳6か月児が対象です。

※発熱や感染症治療中のときは、翌月以降に受診してください。

※保健センター駐車場が満車の場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

●各種相談

内容・対象	受付時間	ところ・問い合わせ
◆こころの相談 心の悩み、不眠、飲酒など気がかりのある人、家族	12日7日(水) 14:00~15:00 ※12月5日(月)まで要予約	保健センター 健康増進課 ☎6791
◆栄養相談 市内在住の人	14日(月) 9:30~13:15~ ※10日(木)まで要予約	保健センター 健康増進課 ☎6791
◆もの忘れ相談 もの忘れや認知症の不安がある65歳以上の人、家族	16日(水) 14:00~15:30 ※11日(金)まで要予約	市役所新館3階会議室C 高齢介護課 ☎6720
◆療育相談 首すわり・おすわり、歩き始めが遅い気がするなど、発育や発達について心配のあるお子さんの家族	30日(水)※要予約 ▶継続の人 9:30~10:30 ▶新規の人 10:30~11:00	市役所新館3階会議室C 高齢介護課 ☎6720
◆B型・C型肝炎検査 一般の人	8日(火)・15日(火) 13:00~13:30 ※要予約	上十三保健所 ☎234261
◆精神保健福祉相談 心の悩みや病気に関する相談を希望する人	16日(水) 13:00~14:00 ※要予約	上十三保健所 ☎234261
◆女性健康相談 思春期や不妊、更年期障害などにお悩みの人	17日(木) 10:00~10:30	上十三保健所 ☎234261
◆エイズに関する相談 一般の人	8日(火)・15日(火) 13:00~14:30 ※要予約	上十三保健所エイズ専用 ☎238450

●献血のお知らせ 問健康増進課健康管理係☎6790

実施予定日	時間	場所
10日(木)	10:00~11:00	(株)福萬組
	13:00~17:00	北里大学学生ホール前

歯周疾患検診のお知らせ

歯を喪失する一大原因である歯周病の早期発見を図り、市民の健康保持増進を推進するため、歯周疾患検診を実施します。対象者へは予診票を10月上旬に発送しています。検診を希望する人は、期間内に検診してください。

対象 年度内に40、50、60、70歳に達する人

実施期間 平成29年3月31日まで

費用 無料(歯周疾患検診結果に基づく精密検査および治療などは本人負担)

検査内容 問診、歯周組織検査

持ち物 保険証、受診票、健康手帳、お薬手帳

実施場所 市内指定医療機関

申問市保健センター☎6790・6791

保健協力員 オレンジリボン運動推進中

「オレンジリボン運動」は、子ども虐待防止のシンボルマークとして、オレンジリボンを広めることで、子どもの虐待をなくすことを呼びかける市民運動です。皆さんの地域の保健協力員は、子育て中の親子の見守りや、地域の身近な相談相手として活動しながら、オレンジリボン運動を推進しています。

11月は「児童虐待防止月間」です。虐待のない子育てに優しい社会を目指し、市民一人一人に何ができるか、この機会に考えてみましょう。

問健康増進課母子保健係☎6792

健康都市宣言推進講演会

楽しく学習しながら、健康づくりに取り組みましょう。「健康とわだポイントラリーPART3」対象事業で、参加無料です(駐車場有料)。

とき 11月18日(金) 午後1時30分(開場午後1時)

ところ 市民文化センター

内容 ①講演「ドクターらく朝の健康ばなし」
講師 立川らく朝氏(落語家・医学博士)

②市民による健康づくり体験談発表

申込期限 11月15日(火)(定員300人先着順)

申問健康増進課健康づくり推進係☎6791

健康とわだポイントラリーPART3実施中

各種健康診査の受診や健康講座などへの参加で30ポイント集めた人は、参加賞がもらえます。ポイントカードは市保健センターで配布中。

★30ポイントでいずれか1つがもらえます。

①市内運動施設体験無料券1回分(今年度から加わりました)

▷ウィング十和田店、カープス十和田穂並店、十和田フィットネススポーツクラブ、メディカルフィットネスよつばの4カ所の中から1カ所選択

②「市総合体育センター」ウォーキングコースの無料利用券2回分

③焼山「市民の家」の無料入浴券2回分

★さらに、60ポイントで500円分のQUOカードがもらえます。

問健康増進課健康づくり推進係☎6791



キラリ
十和田
人
— 第51回 —

夢に向かって “たすき”をつなぐ

三本木中女子駅伝部 主将

さわはし ゆうか
沢橋 優花さん

PROFILE

南小学校では野球部に所属。今でも休日には父親とキャッチボールをしている。三本木中学校（伊藤宏校長）入学後、ソフトボール部に入部したが、素質を見込まれ昨年10月に陸上部転部。以来めきめきと実力を発揮し、現在、臨時に創設された女子駅伝部の主将として部員を引っ張っている。

今、三本木中の駅伝部が注目を集めています。男子駅伝部は、陸上部とサッカー部、バスケット部の選抜メンバーで構成されたスペシャルチームで、9月に東北町で行われた中学校駅伝競走大会県予選会に出場し優勝。東北大会と全国大会の出場権を獲得しました。女子駅伝部は、陸上部で構成された1・2年のみのチームで同大会で準優勝し、昨年に引き続き2回目の東北大会出場権を獲得しました。その女子駅伝部を引っ張っているのが、主将の沢橋優花さんです。

沢橋さんは、陸上競技を本格的に初めて1年余りですが、今年の県民駅伝競走大会にも出場。5区を走り区間3位の記録を出しましたが「目標のタイムを出せなかった」と悔しさをにじませます。

レース当日は、決まった時間にご飯を食べ、いつもどおりウォーミングアップするルーティンを大事にしている沢橋さん。「自分がイメージしていたレースになるように、相手はどう走っても惑わされないように、自分のペースで走ることを大切にしています」と話す彼女からは勝利への強い意気込みを感じます。

東北大会では、「まずはチームとしてみんなをまとめて優勝に導くこと、そして、来年は全国大会に行くことが目標なので、それに向けた課

題を見つけて1年かけて改善していきたい」と主将として先を見据えた抱負を語ります。

監督の榎内一将教諭は「彼女は、距離が長くなれば長くなるほど自分の持ち味を発揮するタイプ。走ることに限らず身体能力が高いので、バランスのいい選手だと思います。また、女子駅伝部は1・2年だけのチームでここまでの結果を出している、県内トップクラスの選手が揃っているの、来年が楽しみです」と沢橋さんらの活躍に期待を寄せます。沢橋さんは、自他ともに認める「負けず嫌い」。「負けず嫌いは、個人レースでは得だけど、チームをまとめるとなるとちょっと邪魔になる時もある」と苦笑しますが、負けず嫌いの性格が彼女の成長を後押ししてきたのは言うまでもありません。

「夢は、マラソンでオリンピックに出て、日本記録を出すこと」

沢橋さんは、夢に向かう将来の自分へ確実にたすきをつないでいます。



市役所代表

☎ 23 5111

FAX 22 5100

土・日曜日および祝日は閉庁

❖お知らせの表記

☎…問い合わせ先

☎…申し込み先

※費用の記載がないものは無料です。

暮らし

土木課からのお知らせ

■協働の力で快適な冬道を！

市では、市民・除雪業者との協働による除雪を推進しています。

市民の皆さんには、守らなければならぬこと、協力できることをお願いいたします。共に力を合わせて、快適な冬道を目指しましょう！

市民の皆さんへお願い

▼道路への雪出しはやめましょう。

▼路上駐車はやめましょう。

▼屋根雪が道路に落ちないように、対策を行いましょ。

▼除雪後の間口寄せ雪の片付けは各家庭で行いましょう。

▼除雪作業中の車庫には絶対近寄らないようにしましよ。



■まごころ除雪事業

市では、除雪が困難な世帯に対し、除雪を支援します。

対象 高齢者、身体障害者および児童のみで構成され、自らの家の敷地を自らが除雪することが困難な非課税世帯

実施内容 間口から玄関先までの簡易な除雪

申し込み方法 申し込み先に備え付けの利用申請書に記入の上、提出してください。昨年度対象となつた人へは利用申請書を郵送します。

申し込み先 土木課、高齢介護課、十和田湖支所、十和田市社会福祉協議会

☎ 土木課維持係 6730

「立地適正化計画」に関する「市民まちづくり懇談会」を開催します

市では、人口減少が進む中でも住みやすい・住み続けられる「コンパクトなまちづくり」を推進するための「立地適正化計画」の策定を進めています。

計画に関する制度の概要や目的などを説明するとともに、今後の市のまちづくりなどに対する市民の皆さんのご意見をお聞きする「市民まちづくり懇談会」を開催します。事前申し込みは不要です。

とき・ところ
11月15日(火)・市役所新館5階会議室

11月16日(水)・東公民館

11月17日(木)・南公民館

※いずれも午後6時～

対象 市内に在住・通勤・通学している人

☎ 都市整備建築課 6735

「ごみ処理基本計画の素案」に対する意見募集（パブリックコメント）を実施します

十和田地域広域事務組合では、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、構成市町村区域内のごみ処理に関する次期計画の策定を進めています。計画の素案に対する皆さんのご意見をお聞かせください。

素案閲覧・意見書様式の入手方法

十和田地域広域事務組合業務課に備え付けてあるほか同組合のホームページからもダウンロードできます。

募集期間 11月4日(金)～12月5日(月) (必着)

提出方法 持参・郵送・FAX・メールのいずれかで提出してください。

☎ 申開 十和田地域広域事務組合業務課 2654



☎ まちづくり支援課 6726

秋期側溝清掃 土砂・汚泥回収

対象地区	回収日程
一本木沢、一本木沢一・二丁目、ひがしの一・二丁目、元町西一～六丁目、元町東一～五丁目、上平、下平（稲生団地除く）、北平、千歳森、七郷、南平、長根尻、後野、井戸頭、北斗、藤高	11月7日(月) ～ 9日(水)
稲生町、東一～三番町、東十一～十三番町、東二十一～二十四番町、西一～三番町、西十一～十三番町、西二十一～二十三番町、里ノ沢、牛泊、しらかば団地、八郷、本金崎、西金崎、稲生団地	11月14日(月) ～ 17日(木)
穂並町、東四～六番町、東十四～十六番町、西四～六番町、西十四～十六番町、並木西、西小稲、日の出町、朝日ヶ丘、一本木、白上中通り、小林	11月21日(月) 11月22日(火) 11月24日(木)

※側溝から回収された土砂は、災害用土のうなどに再利用します。空き缶、空きビン、紙、プラスチック類のごみは可能な限り除去し、落葉と土砂はより分けてください。

※収集車は各通りを一度だけ回収します。泥上げは回収日初日の前日までに終わらせてください。

※国道・県道の清掃を実施する町内会は、国・県に回収を依頼しますので、まちづくり支援課へ事前に連絡してください。

平成29年度 幼稚園児(満3歳以上)を 募集します



幼稚園は初めて出会う学校です

十和田市私立幼稚園協会の各幼稚園で入学願書や案内の配布を行っています。入園願書の受け付けは11月1日(火)からです。

詳しくは各幼稚園へお問い合わせください。

問い合わせ先 (十和田市私立幼稚園協会)

- ▶ 学校法人東北カトリック学園十和田カトリック幼稚園 ☎②32518
- ▶ 学校法人吉田学園認定こども園十和田みなみ幼稚園 ☎②33797
- ▶ 学校法人さつき学園認定こども園さつき幼稚園 ☎②1636
- ▶ 学校法人青森山田学園青森大学附属北園幼稚園 ☎②1871

◆ 私立幼稚園就園奨励費のお知らせ ◆

市では、子ども・子育て支援新制度に移行していない十和田カトリック幼稚園に通っているお子さんのいる世帯を対象に、所得に応じて入園料・保育料の一部を補助する事業を実施しています。詳しくはお問い合わせください。

問 十和田カトリック幼稚園 ☎②32518 教育総務課学務係 ☎②2305

給与支払報告書の提出は eLTAX をご利用ください

平成29年1月から、国と地方にそれぞれ提出義務のある源泉徴収票・給与支払報告書の電子データによる提出の一元化が始まります。

これに伴い、eLTAXを活用して、自宅や事務所のパソコンから給与支払報告書と源泉徴収票の統一様式に入力していただくだけで、給与支払報告書と源泉徴収票のそれぞれのデータが作成され、給与支払報告書のデータを市区町村に、源泉徴収票のデータを国税庁に、届けることができるようになりました。

① 電子申告

法人都道府県民税、法人事業税、地方法人特別税、法人市町村民税、固定資産税(償却資産)、個人住民税(給与支払報告書等や特別徴収関連手続き)、事業所税

② 電子申請・届出

給与支払報告書や源泉徴収票の届出、法人設立届出や異動届出など

③ 電子納税

電子申告に係る納付手続き(固定資産税(償却資産)を除く)

※詳しくは、eLTAXのホームページ

(<http://www.eltax.jp/>) をご覧ください。

問 給与支払報告書について
税務課 ☎⑤16767

■ 差し押さえした不動産をインターネット公売します

問 収納課 ☎⑤16784

入札番号	不動産の所在	登記地目	面積
1	大字相坂字高清水	宅地	計3,333㎡
		建物	延99.36㎡

- ▶ 公売参加申込期間 11月8日(火) 午後1時 ~ 11月21日(月) 午後11時
- ▶ 入札日時 11月29日(火) 午後1時 ~ 12月6日(火) 午後1時
- ▶ 場所 ヤフー官公庁オークションホームページ上
<http://koubai.auctions.yahoo.co.jp/>

※公売物件の地番や見積価格、公売保証金などは、市役所などに掲示の公売公告または市ホームページでご確認ください。

※入札はヤフーオークションのガイドラインを熟読のうえ、行ってください。

※物件が追加になることもあります。

eLTAXについて
eLTAXヘルプデスク
☎0570-081459

ヘルプマークとヘルプカードを配布しています

外見では障害があるとはわからなくても援助が必要な人がいます。そのような人々がヘルプマークを身に付けたら、ヘルプカードを提示したりすることで、周囲の人に配慮が必要なることを知らせることができます。

ヘルプマークを身に付けている人を見かけた時やヘルプカードの提示をされた時には、思いやりのある行動や支援をお願いします。

配布対象 身体障害、知的障害、発達障害のある人
配布場所 生活福祉課



問 生活福祉課 ☎⑤16718

11月 は労働保険適用促進強化期間です

労働者を一人でも雇っている事業主は労働保険に加入する義務があります(農林水産業の一部を除く)。

労働保険の成立手続きがお済みでない事業主の人は、今すぐ加入手続きをするようお願いします。

※労働保険とは労災保険と雇用保険を総称した名称です。

問 三沢公共職業安定所十和田出張所
☎②35361

青森県最低賃金改正のお知らせ

青森県最低賃金は、青森県内で働く全ての労働者と、労働者を一人でも使用している使用者に適用されます。製造業と小売業の一部には、特定（産業別）最低賃金が定められています。詳しくは、青森労働局ホームページをご覧ください。

時間額 716円（10月20日から）

☎青森労働局労働基準部賃金室

☎0177-734-4114

中小企業の再生を支援します

公益財団法人21あおもり産業総合支援センターでは、厳しい経済環境の中、企業経営の継続に不安を抱えている県内の中小企業、企業再生に意欲のある中小企業の人々の相談に、企業や事業の再生などに知見と経験を有する常任専門員が個別相談に応じています。

☎公益財団法人21あおもり産業総合支援センター

☎0177-752-9225

浄化槽を正しく使いましょう

浄化槽は、微生物の働きを利用して汚水を浄化するため、次の適正な管理が必要です。

▼定期的な保守点検 ▼年一回の清掃 ▼法定検査の受検（使用開始後か年一回）

また、浄化槽の使用開始時や廃止

時、管理者の変更時などには、八戸環境管理事務所へ届け出などが必要が必要です。

☎八戸環境管理事務所

☎0178-27-5111

11月30日は「年金の日」です

「ねんきんネット」で自分の未来設計を始めませんか。

「ねんきんネット」では、これまでの年金記録や、これからの年金見込額をパソコンやスマートフォンで確認することができます。利用には登録が必要です。詳細は「ねんきんネット」で検索をしてください。

☎ねんきんネット専用ナビダイヤル

☎0570-058-555



十和田湖診療所任期付職員を募集します

募集職種 看護師または准看護師

募集人員 1人

任用期間 平成29年4月1日から3年間

受験資格 十和田湖診療所まで自動車で通勤できること

試験 とき・ところ
12月10日(土)・市役所

試験案内(募集要項)・受験申込書
人事課、市役所本館1階案内、十

和田湖支所で配布

※受験資格など詳しくは、試験案内をご覧ください。また、試験案内をご確認ください。

受験申込書は、市ホームページからもダウンロードできます。

申し込み方法 受験申込書に必要事項を記入の上、持参または郵送

申込期限 11月15日(火)（郵送の場合は、当日の消印有効）

☎申問 人事課 ☎6705

中央病院職員(病院事業職員)を再募集します

平成29年4月採用の医療職職員を募集します。

募集職種・人員

▼看護師 7人程度

▼薬剤師 1人程度

▼臨床工学技士 1人程度

試験 とき・ところ

12月2日(金)・中央病院

試験案内(募集要項)・受験申込書

中央病院総合案内で配布

※受験資格など詳しくは、試験案内をご覧ください。また、試験案内を

受験申込書は、中央病院のホームページからもダウンロードできます。

申し込み方法 受験申込書に必要事項を記入の上、持参または郵送

申込期間 11月2日(水)～22日(火)（郵送の場合は、当日の消印有効）

☎申問 中央病院業務課 ☎5121

冬場の運動不足解消

ノルディックウォーク参加者募集

とき 12月1日(木)

午前10時～11時30分

ところ アネックススポーツランド

対象 おおむね65歳以上の人

定員 30人(先着順)

持ち物 飲み物、タオル、ポール

※ポールは、持っている人のみ

申込期限 11月24日(木)

※平成29年3月まで毎週木曜日実施

予定です。1回のみ参加も可。

送迎バスを毎回運行します。詳しくはお問い合わせください。

☎申問 地域包括支援センター

☎03671

自立体力検定参加者募集

歩行、手作業、身体調整、姿勢変換の4つの能力を測定することで、「自立体力」が何歳位なのか知ることができます。

とき 11月17日(木)

午後1時30分～3時30分

ところ 総合体育センター

対象 おおむね65歳以上の人

定員 30人(先着順)

持ち物 飲み物、タオル、内履き

申込期限 11月14日(月)

☎申問 地域包括支援センター

☎03671

☎03671

「インターネットを活用した販路拡大セミナー」参加者募集

インターネットの活用によって少ない投資額で販路拡大や情報発信、さらには海外販売までもが可能となる「電子商取引（Eコマース）」について、楽天市場の専門家が解説します。

とき 11月16日(水)

午後7時～8時30分

ところ 市民交流プラザ「トワール」

対象 企業か個人事業者
定員 40人（先着順）

申込期限 11月11日(金)

申問 商工労政課 ☎6773

第16回十和田市写真コンテスト作品募集

テーマ 十和田を感じさせる写真

応募期限 11月30日(水)必着

応募規定 A4から四ツ切サイズ、カラー、モノクロ可。単写真のみ。

未発表の作品に限ります。
※応募方法など詳しくは、市観光協会のホームページ「ゆるりら十和田」をご覧ください。実施要領や応募用紙をダウンロードできます。

応募枚数 一人10点以内

審査員 和田光弘さん（十和田市出身・日本大学芸術学部写真学科講師）

入賞 最優秀賞（賞金3万円・副賞）ほか各賞

申問（一社）市観光協会 ☎243006

平成28年度自衛官募集

申問 自衛隊青森地方協力本部三沢募集案内所 ☎31346

募集種目	応募資格	受付期間	試験期日	試験場所（予定）
自衛官候補生	男子で18歳以上27歳未満の人	年間を通じて行っています。	受付時にお知らせします。	受付時にお知らせします。
陸上自衛隊高等工科学校生徒（推薦）	男子で中卒（見込含）17歳未満の成績優秀かつ生徒会活動などに顕著な実績を納め、学校長が推薦できる人	11月1日(火)～12月2日(金)	平成29年1月7日(土)～1月9日(月) ※いずれか1日を指定されます	陸上自衛隊高等工科学校（神奈川県横須賀市）
陸上自衛隊高等工科学校生徒（一般）	男子で中卒（見込含）17歳未満の人	11月1日(火)～平成29年1月6日(金)	【1次試験】 平成29年1月21日(土)	青森駐屯地（青森市） 千年交流センター（弘前市） 小中野公民館（八戸市）
			【2次試験】 平成29年2月2日(木)～5日(日)	青森駐屯地（青森市） 弘前駐屯地（弘前市）

平成28年度排水設備配管工認定講習受講生募集

とき 平成29年1月20日(金)～27日(金)

ところ 青森市・弘前市・八戸市

費用 7千円（振込手数料別途必要）

申込書配布・申込期間 11月10日(木)～11月30日(水)（土・日曜日、祝日を除く）

申し込み方法 下水道課で配布する申込書に所定の書類を添えて持参してください。

※詳しくはお問い合わせください。
申問 下水道課 ☎254015

講座・教室

中央病院「市民健やかセミナー」

とき 11月16日(水) 午後4時～5時

ところ 中央病院1階外来待合室

10月の演題「知って予防インフルエンザとノロウイルス」

講師 感染管理認定看護師 藤井真希

※事前申し込みは不要です。
申問 中央病院業務課 ☎235121



とわだみらい青年講座

青年たちが楽しく学び合う講座です。

■おいしいコーヒーを飲みながら、十和田市の未来を考えよう！

とき 11月16日(水) 午後7時～9時

ところ 市民交流プラザ「トワール」

対象 18歳以上40歳未満の人

費用 500円（材料費）

内容 ドリップコーヒーの淹れ方教室（講師・富樫孝則さん）

市の人口ビジョン・総合戦略の話（講師・政策財政課）

申込期限 11月15日(火)

申問 スポーツ・生涯学習課

☎22318

■「筆ペンで書」～自分だけの年賀状づくり～

とき 11月17日(木) 午後6時30分～8時30分

ところ 東公民館

対象 18歳以上40歳未満の人

費用 500円（筆ペン、材料費）
定員 12人（先着順）

内容 和紙などを使用して個性ある年賀状づくりを学びます。

講師 日本習字ふくろう教室 中村文子さん

申込期限 11月11日(金)

申問 東公民館 ☎249000

東公民館からのお知らせ

■東公民館民間教育事業者による講
座体験&見学デー

一日で多くの講座を体験して自分
に合った講座を見つけませんか。

ご自由に見学いただけます。

とき 11月13日(日)

午前10時～午後4時

内容 健康体操、フラダンス、太極

拳、琴、陶芸、書道、茶道、生け
花、押し花、粘土工芸など

※講座により材料費などが必要な場
合があります。

東公民館 ☎249000

講師の会(加藤)

☎090・8580・9169

■東公民館講座「ふるさと再発見」
受講生募集

とき 11月18日(金) 午後1時～3時

定員 60人

演題 誠なる十和田湖のヒメマス

内容 「十和田湖開発の父」と呼ば

れ、宇樽部湖畔の開拓に尽力した
三浦泉八の功績のうちから養魚事

業にスポットを当てた講演

講師 瀬川万喜太さん

申間東公民館 ☎249000

■南公民館からのお知らせ

■干支の和紙工芸教室

新年の干支である「酉」の和紙工
芸を作ります。

とき 12月1日(木) 午前9時～正午

対象 20歳以上の市民

費用 2千円(材料費)

定員 15人(応募者多数時抽選)

申込期間 11月7日(月)～16日(水)

申間南公民館 ☎224416

■十和田湖公民館からのお知らせ

■「ガッツリおつまみ」チャレンジ

料理教室

早い・うまい・簡単：ユニークな
レシピを紹介します。

とき 11月29日(火)

午前9時30分～午後0時30分

費用 千円(材料費)

■郷土料理・豆しとぎ作り教室

「しとぎ」の歴史は古く、平安時
代にも神前に供えられたといま

す。

とき 12月6日(火)

午前9時30分～午後0時30分

費用 600円(材料費)

◆いずれも

ところ 沢田悠学館

定員 16人(応募者多数時抽選)

持ち物 エプロン、三角巾、布巾

申込期限 11月16日(水)

申間十和田湖公民館 ☎22102



江戸時代の滝沢地区の歴史展Ⅱ

〜これまでの解説成果の一部公開〜

代々武家であった滝沢家から市に

寄贈された、中渡八幡宮や新田開発
の古文書や巻物、刀などを展示しま

す。

とき 11月12日(土)～20日(日)

午前9時～午後5時

ところ 市民交流プラザ「トワール」

展示解説 11月12日(土)、20日(日)の午

前11時から展示解説を行います。

◆場所を変え、引き続き展示しま

す。 11月22日(火)～12月25日(日)(月

曜休館) 午前9時～午後5時

ところ 市郷土館

間スポーツ・生涯学習課

☎2313



■十和田湖公民館まつり

とき 11月20日(日)

午前9時30分～午後4時

▼展示部門 書道、裂織、手芸、生

け花、陶芸、児童生徒作品など

▼舞台部門 和太鼓、鶏舞、舞踊、

手話コーラス、フラダンスなど

(法奥小学校体育館で実施)

▼販売部門 ドーナツ、コーヒール、

くし餅など(公民館と法奥小学校

で実施)

間十和田湖公民館 ☎22102

【有料広告欄】

間総務課広報男女参画係 ☎516702

いずみ法律事務所

弁護士 鈴木 陽大
弁護士 花生 耕子
青森県弁護士会所属

離婚、相続、不動産
交通事故、債務整理

その他、様々な法的なお悩みについて

法律問題の専門家である弁護士にご相談を

☆初回30分法律相談料無料

TEL 0176-58-6558

青森県十和田市西一番町17番6号 2階

http://izumi-law.sakura.ne.jp

借金のご相談 無料 任意整理... 1社2万5千円



アカシアの森法律事務所

青森県弁護士会所属 弁護士 今井 正

- ①大手消費者金融へ5年以上返済を続けている。
- ②金利が25パーセント前後だった。

上記①、②に該当した方は過払い金が戻ってくるかもしれません。
貸金業者が倒産する前に、善は急げ! まずはお電話ください。

ご相談はお電話で
ご予約ください。

☎0176-51-4317

http://www.acacia-forest.jp

アカシアの森法律事務所 (検索) 千034-0082 青森県十和田市西二番町8-4 (十和田市現代美術館駐車場隣)



十和田市子ども劇団

【第23回定期公演】

演目 「大切な仲間たち ねずみ物語」
とき 11月20日(日)

午後1時30分開場、午後2時開演
ところ 市民文化センター

問 スポーツ・生涯学習課 ☎ 23313

とわだっ子いじめ追放集会

市内小・中学校の各校が実践しているいじめ防止などの取り組みについて発表します。

とき 11月19日(土)

午後1時30分～4時10分

ところ 南公民館

問 指導課 ☎ 23309

教育講演会

とき 11月12日(土)

午前9時15分～11時55分

ところ 三本木小学校

講演 「特別な支援を必要とする子ども達の高校進学とその現状」

講師 青森県教育庁学校教育課特別

支援教育推進室

指導主事 藤川雅人さん

申込期限 11月9日(水)

※当日の参加も受け付けています。

問 三本木小特別支援教育センター

☎・FAX ☎ 29553

なかよし発表会

市内特別支援学級の児童生徒が、趣味や特技を生かし、劇や遊戯などのステージ発表を行います。

とき 11月30日(水)

午前9時25分～午後2時30分

ところ 市民文化センター

問 指導課 ☎ 23309

第29回十和田市民合唱祭

とき 11月27日(日)

午後1時開場 午後1時30分開演

ところ 市民文化センター

参加団体(出演順) ▼三本木小学校

音楽部 ▼南小学校合唱部 ▼みなみ大学 ▼コーラス四季 ▼十和田湖

コーラス愛好会 ▼滝の詩王者合唱団 ▼コーラアゼリア ▼とわだ混声

合唱団

問 スポーツ・生涯学習課 ☎ 23313

催します。

第21回県民公開講座「骨髄移植を知ろう」

骨髄移植に関する講演会などを開催します。

とき 11月26日(土)

正午～午後4時10分

ところ 市民文化センター

演題 「骨髄移植とは」

講師 青森県立中央病院 血液内科

医師 久保恒明さん

定員 300人

※骨髄ドナー・移植者による体験談

や青森山田中学高等学校吹奏楽部による「いのちのりレーコンサート」なども実施します。詳しくはお問い合わせください。

問 青森県立中央病院血液内科8階

西病棟 ☎ 0177-268081

現代美術館

企画展「On the Beach

ヨーガン レール 海からのメッセージ」関連イベント

スペシャルトーク(1回目)

とき 11月5日(土) 午後2時～3時

ゲスト 高木由利子さん(写真家)

スペシャルトーク(2回目)

とき 11月6日(日) 午後2時～3時

ゲスト 鶴田真由さん(女優)

◆いづれも

費用 企画展観覧チケットが必要で

す(高校生以下無料)

※事前に電話、FAXかメールのい

づれかでの予約した人を優先しま

す。

■11月10日(木)は市民無料デー

常設展示が無料で観覧できます。

マイナンバーカード、免許証や保険

証など住所が分かるものを受け付け

に提示してください。

問 現代美術館 ☎ 211227

FAX ☎ 1138

メール info@rowadartcenter.com

【有料広告欄】

問 総務課広報男女参画係 ☎ 6702

café フォーリーフ 11月 イベントカレンダー

株式会社工バークリン 株式会社介護施設よつ葉 十和田東十一番町23-35 (代)0176-58-5757

15日(土) 10:00-体で感じるホロスコープ講座 講師:佐々木ユウ子 ランチ込3,500円
自分の潜在意識に秘められた才能を引き出すホロスコープティーを飲みながら、
出生図でもあるチャートの特徴を学びます※初めての方でも楽しめる量の4元票を中心にお話し

17日(木) 9:45-ベビーマッサージ 講師:吉原理恵 ケーキセット付1,500円
対象:2か月から歩く前までの赤ちゃん。体調の安定している妊婦さん(1名)計10組
持ち物:いつものお出かけセット、バスタオル1枚、赤ちゃんの飲み物
ベビーマッサージでママも赤ちゃんもニコニコに♡

19日(木) 9:30-ツールイベント ランチ込2,300円
持ち物:エプロン、もしくは汚れてもいい格好 綿の肌着こらで用意します。
あらかじめ用意された下絵を写し、作品を作ります。

19日(木) 18:00-ボジョレーパーティー 4,500円
28日(火) 10:00-親子でできるルーシーダットン ドリンク付800円
深い呼吸でゆっくりとポーズを行います。
年齢に関係なく幅広い層の方に楽しんでいただけたら、

7日(月) 10:00-スクラップブック作り 講師:流石麻子 ランチ込1,500円
持ち物:カッターもいり写真2枚 絵は巻 テープのみ

10日(木) 11:00-脱活のすすめ 桜田恵花店 ランチ込1,000円
暮らしの脱活にご提案です。年金支給を始めてからの平均寿命は男性で74年、女性で70年です。
これから、まだ短くない人生の時間をあなたを待っています。

15日(土) 10:00-未読学現までのハミガキとおやつ ランチ込1,000円
お問い合わせ先:お申込み
0176-58-5757 cafe@foleyleaf@gmail.com
もしもfacebookページまで

《お気軽にご相談ください》

弁護士法人 青空と大地
《青森県弁護士会所属》
代表弁護士 橋本明広
十和田市西三番町1番42号 NTT十和田ビル2階

取扱業務
民事全般、不動産、離婚、相続、成年後見、債務整理、会社関係、刑事
(上記以外の事件も取り扱っています。)
相談料 初回 60分 5,000円(税別)
(個人の多重債務相談は無料です。)
相談は電話又は来所による予約制です。

☎0176(21)5162(受付時間 平日9時～17時30分)
http://www.aozora-daichi.com

畜産講習会

とき 11月22日(火) 午後1時30分～
 ところ サン・ロイヤルとわだ
 演題 「全国の種雄牛情勢とおおも
 り和牛の改良について」

講師 (有)北国肉牛商事

代表 小野健一さん

関 上十三地区家畜衛生推進協議会

☎ 25 2362

「Pepper」の愛称が「何遊坊」に
 決定しました

観光案内のために導入した、Pepperの愛称を一般公募したところ、46件の応募をいただきました。厳正な選考の結果、「何遊坊」に決定しました。

Pepperは岩手大学で十和田市観光案内のプログラムを開発していただき、十和田湖観光交流センター「ぷらっと」にて活躍中です。外国語でも観光案内をしています。

関 観光推進課 ☎ 6772

会いに来てね!



市立中央病院

病院ふれあいまつり

関 中央病院業務課 ☎ 23 5121 内線3230

市民の皆さんに開かれた病院として、より親しみを感じ理解を深めていただくために「病院ふれあいまつり」を開催します。各種体験・相談が無料でできます。

当日は病院駐車場を無料開放しますので、どうぞお気軽にお越しください。

とき 11月6日(日) 午前10時～午後4時30分

ところ 中央病院本館1階エントランスホール ほか

医療体験ブース

- ▶ 医師や医療専門職によるチーム活動の紹介
- ▶ 各種医療の体験 など

健康相談ブース

- ▶ 無料健診コーナー
- ▶ がん相談、お薬・禁煙相談 など

各種イベントブース

- ▶ フリーマーケット
- ▶ 絵画展示、音楽演奏
- ▶ 盲導犬ふれあいコーナー など

市民公開講座

事前申し込み不要。無料でどなたでも参加できます。

- **第1部** 午前11時～正午 本館1階エントランスホール
 「笑って！学んで！認知症を理解しよう～認知症の症状とその対応～」
 じゅんちゃん一座 寸劇 「和田黄門～このカードが目に入らぬか！！～」
 監修・解説 メンタルヘルス科診療部長 竹内 淳子 先生
- **第2部** 午後3時30分～4時30分 別館2階講堂
 「正しく恐れよう！肺炎と結核」
 講師 弘前大学大学院医学研究科
 呼吸器内科学講座 教授 田坂 定智 先生



【有料広告欄】

関 総務課広報男女参画係 ☎ 6702



社会福祉法人

福祉の里



〒034-0061 十和田市大字切田字横道100-22
 TEL 0176-25-1100 / FAX 0176-25-1115
<http://www.fukushinosato.com> e-mail:rouken-minori@fukushinosato.com

老人保健施設 **みのり苑**



〒034-0061
 十和田市大字切田字横道100-22
 TEL 0176-25-1100 / FAX 25-1115

ケアハウスポナール十和田



〒034-0089
 十和田市西二十三番町30-36
 TEL 0176-22-2211 / FAX 22-5621

福祉の里 **アネックス元町**



〒034-0002
 十和田市元町西一丁目13-36
 TEL 0176-21-1888 / FAX 21-1880

福祉の里では、看護師、介護福祉士、理学療法士、作業療法士などの数多くの専門職が働いています。





市民の広場

市民の皆さんが行う催しの紹介、サークルなどの会員募集のコーナーです。**費用の記載がないものは無料**です。掲載希望のかたは市ホームページをご覧ください。

ゆるくてやさしいヨガ無料体験

壮大な宇宙に目を放ち、深い呼吸で豊かなエネルギーを心と体に入れる。忙しさに追われる日々、ちょっと休んで味わってみませんか。

とき 11月23日(水)

午前10時～11時50分

ところ 市民交流プラザ「タワーレ」

対象 18歳以上

定員 15人(先着順)

持ち物 タオル、マット(無ければ不要)、飲み物

費用 200円(駐車料)

☎ ゆるくてやさしいヨガ愛好会・関野祐子 ☎ 2206

認知症予防の脳トレ教室

心と脳を活性化し、笑顔で暮らしましょう。介護予防体操も行います。

とき・ところ

各会場とも午後1時30分～3時

■ 毎週火曜日
市民交流プラザ「タワーレ」

■ 第1・3木曜日
東公民館

■ 第2・4木曜日
南公民館

対象 50歳以上

費用 500円(資料・茶菓子代)

※事前申し込み不要です。直接会場へお越しください。

☎ NPO 法人スマイルラボ

☎・FAX ☎ 8922

メール office@smilelab.info

民話を語ってみませんか? (語りべ養成講座)

民話の世界は夢があり、戒めがあり、実に奥深いものです。民話の語りの基本をやさしく楽しくお教えします。

とき 11月16日(水)・23日(水)

午後6時30分～8時

ところ 南公民館

講師 越後屋徳兵衛さん

(語りべ表現指導者・演出家)

定員 10人(先着順)

申込期限 11月11日(金)

※平成29年3月まで毎月2回開催します。

☎ 十和田民話語りべ「わの会」

・一本松さよ ☎ 0786

第29回北里大学十和田交響楽団 定期演奏会

今年のテーマは「四季」です。それぞれの季節の特徴や移り変わっていくさまをオーケストラが奏でるメロディで表現します。迫力ある生の演奏をお楽しみください。

とき 12月3日(土)

午後5時開場・5時30分開演

ところ 市民文化センター

演奏曲 グノー作曲「ファウスト」、ウエストサイドストーリーセレクションほか

☎ 北里大学交響楽団部・榊原

☎ 090-4156-6048

男の料理

脂質・糖質を控えたダイエットレシピとは?

とき 11月28日(月) 午前9時～正午

ところ 東公民館

定員 30人(先着順)

費用 900円(食材費)

持ち物 三角巾、エプロン、筆記用具

☎ 食養生の会・苜米地登志子

☎ 090-5830-3356

第12回九条・平和文化祭

とき 11月19日(土) 午後1時～5時

20日(日) 午前9時～午後4時

ところ 市民文化センター

展示部門 文芸、美術、写真、戦時中の教科書、戦中戦後の歴史資料など

発表部門 コンサート、体験談、紙芝居など

☎ 九条を守る上十三の会

上北地方教育会館 ☎ 4271

【有料広告欄】

☎ 総務課広報男女参画係 ☎ 6702

おうち買い取りNo.1*のカチタスが



あなたのおうちを、
買い取ります



お手持ちの「家」、お売りください

空き家で
管理が大変

売りたいが、人に
知られたくない

相続したが
不要

現金化したい

買取査定・
買取相談が
無料 **0円**

株式会社カチタス十和田店 ☎ 0120-36-2247

〒034-0001 十和田市大字三本木字稲吉 85-66 国土交通大臣免許(5)第5475号

11月の市民無料相談

内容	日時
◆行政相談 行政機関などの業務に対する苦情、意見、要望などの相談	7日(月)・21日(月) 7日は十和田湖支所同時開催 午後1時～3時
◆人権相談 いじめや差別、家庭内や隣近所とのめごとなどの相談	11日(金)・25日(金) 午後1時～3時
◆法律相談(定員7人) 相続、離婚、借金などの相談	16日(水) 午後1時～4時 ※9日(水)午前8時30分から予約開始
◆司法書士相談(定員4人) 登記、相続、借金などの相談	17日(木) 午後1時～3時 ※10日(木)午前8時30分から予約開始
◆不動産相談(定員4人) 不動産の売買、不動産の賃貸借などの相談	10日(木) 午後1時～3時 ※2日(木)までに要予約
◆くらしとお金の相談 多重債務、生活資金などの相談	9日(水) 午前10時～午後4時 ※前日までに要予約
◆法テラス青森(法律相談) 借金・離婚・労働問題などの相談 ※資力基準に該当するかた	8日(火)・22日(火) 午後1時～4時 ※予約先 ☎050-3383-5552
◆消費生活相談 悪質商法、架空請求、製品事故などの消費生活の相談	毎週月～金曜日 午前8時30分～午後4時30分 ※相談前に要予約
◆交通事故相談 交通事故による損害賠償、示談などの相談	15日(火) (予約があった場合に開催) ※予約先県庁 ☎017-734-9235

ところ まちづくり支援課市民相談室
申問まちづくり支援課 ☎⑤ 6777

内容	日時
◆市税夜間納付・相談窓口	1日(火)、2日(水)、4日(金) 21日(月)、22日(火)、 24日(木)、25日(金)、 28日(月)～12月2日(金)

とき 午後5時30分～8時 ところ 収納課
※本館北側職員通用口からお入りください(午後6時以降は本館正面玄関からは入れません)。
問収納課 ☎⑤ 6760

内容	日時
◆出張年金相談 年金の無料相談	25日(金)※要予約 (予約があった場合に開催) ※予約先八戸年金事務所 ☎0178-43-7368

とき 午前10時～午後3時
ところ 新館3階会議室A
問八戸年金事務所 ☎0178 ④3 7368 市民課 ☎⑤ 6753

11月30日(水)が納期限です
市税等は納期限内に納めましょう
固定資産税第4期/国民健康保険税第5期
介護保険料第5期/後期高齢者医療保険料第5期

休日当番医 問健康増進課 ☎⑤ 6790

3日(木)	十和田北クリニック ☎②13741
6日(日)	かわむらクリニック ☎②01505
13日(日)	十和田外科内科 ☎②5151
20日(日)	篠田医院 ☎③2022
23日(水)	十和田泌尿器科 ☎②7340
27日(日)	藤原内科 ☎④0770

人口と世帯 平成28年9月末現在 ※ () 内は前月比

■人口/63,014人 (+12人) 男/30,183人 (+20人) 女/32,831人 (-8人)
■世帯数/27,409世帯 (+38世帯)

information

その他の催し <>…開始時間

5(土)	▶紙しばい倶楽部とわだ <10:30>～市民図書館 (問市民図書館 ☎③7808) ▶第47回市民文化祭 <オープニングセレモニー10:00 展示部 門10:00(～6日) 舞の躍動10:20 演劇18:00> ～市民文化センター (問スポーツ・生涯学習課 ☎②2318)
6(日)	▶第47回市民文化祭 <吟詠10:00 謡と仕舞13:00 秋のスペ シャルコンサート13:00>～市民文化センター (問スポーツ・生涯学習課 ☎②2318)
7(月)	▶乙女クラブ 万葉仮名 百人一首 作品展 ～市民文化センター (問乙女クラブ・豊川 ☎②7422) (～30日)
10(木)	▶おしゃべりサロン「クローバー」<①10:00・②13:30> ～保健センター (問傾聴サロンとわだ・黒子 ☎090-2796-0999) ▶十和田市民大学講座 第7講座「佐々木優花のジャズを楽し む90分」<18:30>～市民文化センター (講師:佐々木優香さ ん) 閉講式 (問スポーツ・生涯学習課 ☎②2318)
11(金)	▶がんばろう東北! 演歌! 男の三兄弟<18:30> ～市民文化センター (S指定席前売券5,400円) (問肴オカダ・プランニング ☎0225-22-0934)
12(土)	▶話しのサロン・こころの広場ルピナス<10:00> ～勤労青少年ホーム (問健康増進課 ☎⑤6791) (26日も開催) ▶語りの会・こま草「おはなしのゆうびんやさん」 <①10:30・②14:00>～市民図書館 (問市民図書館 ☎③7808) (26日も開催) ▶十和田市小中学校美術展<9:00>～市民文化センター (問指導課 ☎②2309) (～13日) ▶上十三もの忘れフォーラム<13:00>～市民文化センター (問武田薬品工業株 ☎017-722-6122)
13(日)	▶第12回十和田市総合体育大会(後期)～市総合体育センターほか (問スポーツ・生涯学習課 ☎②2317)
14(月)	▶平成28年分年末調整説明会<14:00> ～市民文化センター (問十和田税務署 ☎③3151)
19(土)	▶わっこの会「読み聞かせ」<10:30>～市民図書館 (問市民図書館 ☎③7808)
23(水)	▶天間ピアノ教室・いわべピアノ教室 ピアノコンサート <13:00>～市民文化センター (問いわべピアノ教室・岩部 ☎090-1493-9090) ▶八甲田吹奏楽団演奏会「サウンド・カーニバル2016」 <14:00>～市民文化センター (問八甲田吹奏楽団・苫米地 ☎090-7335-9708)
27(日)	▶普通救命講習会<9:00>～十和田消防署 (対象:中学生以上の市民) (問十和田消防署 ☎⑤4115)

借金とこころの無料相談会

弁護士、保健師などがチームとなって借金の相談だけでなく、心のケアや生活再建に向けたさまざまな相談に応じます。どなたでも相談できます。

- ◆とき 11月12日(土) 午後1時～3時
- ◆ところ 市保健センター
- ◆主催 青森りんごの会(青森多重債務被害等をなくす会)
申問青森りんごの会事務局 ☎080-6057-3792

「自死遺族のつどい」

11月12日(土) 午後1時30分～3時30分	八戸駅ユートリー 4階伝統工芸室
----------------------------	------------------

大切な人を自死で亡くされた思いを抱えている人が集まり、自分の体験や思いを心おきなく話せる安心な場です。その場において聞くだけでもかまいません。

問県立精神保健福祉センター こころの電話 ☎017-787-3957 (3958)



～今日も無事でいてほしい～

みんなでつくろう安全・安心なまち
セーフコミュニティ十和田

